

令和元年度 高冷地水稲生育速報(第1報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月3日調査)

調査日	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		葉齢
				葉色板	SPAD値	
たかやまもち	本年	23.7 (92%)	202 (171%)	3.3 (-0.3)	32.1 (+1.0)	5.1 (-0.2)
	前年	26.7	160	3.5	33.4	5.3
	平年	25.8	118	3.6	31.1	5.3
あきたこまち	本年	19.0 (81%)	169 (152%)	3.7	34.2 (+2.4)	4.7 (-0.7)
	前年	25.7	129	3.4	25.6	5.2
	平年	23.5	111	-	31.8	5.4
ひだほまれ	本年	20.7 (85%)	146 (118%)	3.2 (-0.3)	31.2 (-0.4)	4.8 (-0.7)
	前年	25.2	151	3.3	33.4	5.3
	平年	24.4	124	3.5	31.6	5.5
ひとめぼれ	本年	18.9 (82%)	253 (204%)	3.8 (+0.1)	37.7 (+4.7)	5.1 (-0.2)
	前年	25.4	140	3.4	35.0	5.2
	平年	23.1	124	3.7	33.0	5.3
コシヒカリ	本年	23.5 (90%)	215 (171%)	3.7 (+0.2)	35.3 (+3.7)	4.8 (-0.5)
	前年	25.5	153	3.1	33.3	5.1
	平年	26.2	126	3.5	31.6	5.3

栽培条件：移植5月14日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 H25年度以前の栽植密度は 22.2株/m²、平成26年度は18.2株/m²、平成27年度は21.2株/m²、
 H28～30年度は 22.2株/m²

平年値：過去5年間(H26年～H30年)の平均値
 ()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1) 気象概況

移植後の気温は平年よりやや高めに推移しており、最高気温は平年より高く推移している。一方で5月20日頃に最低気温が低い期間があった。日照時間は平年よりも多かった。

2) 生育概況

生育は草丈が平年より低く、茎数は平年より多い。葉色値は「たかやまもち」、ひだほまれ」はやや低いが、その他の品種は平年並み～やや高い。葉齢は平年よりやや遅い。最低気温が低かった期間の影響で分けつが促進されたと考えられる。

3) 病害虫等の発生状況

イネミズゾウムシの発生が確認されたが、発生密度は高くなかったため防除は箱施薬のみである。

4) 今後の管理

「早期中干し」は生育促進、土壌中のガス抜き及びアオミドロ、藻類対策として効果がある。試験場内ほ場においては、5月29日に実施した。

令和元年(2019年)の気象図

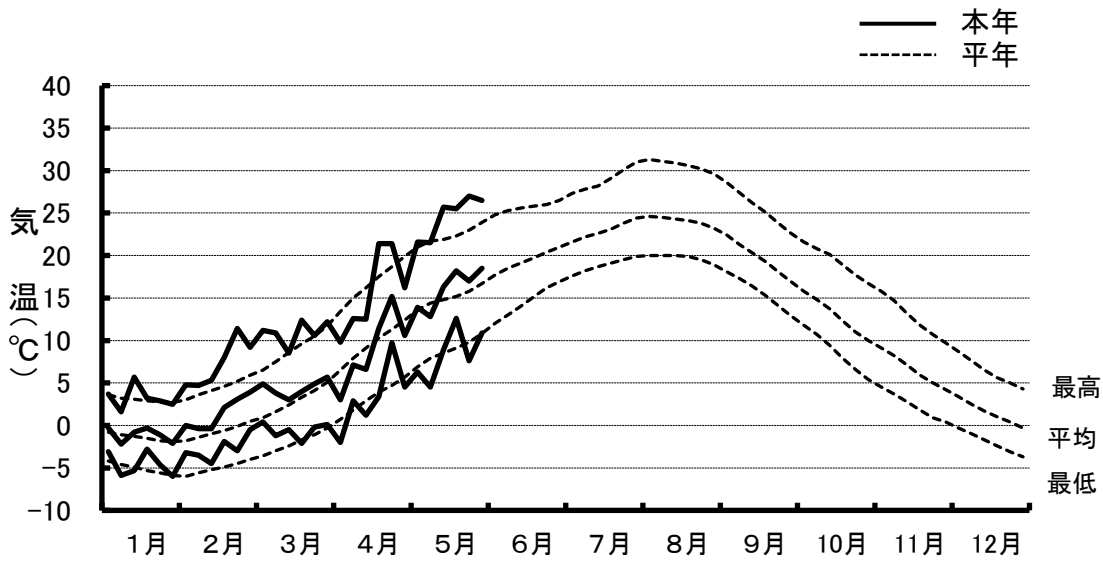


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

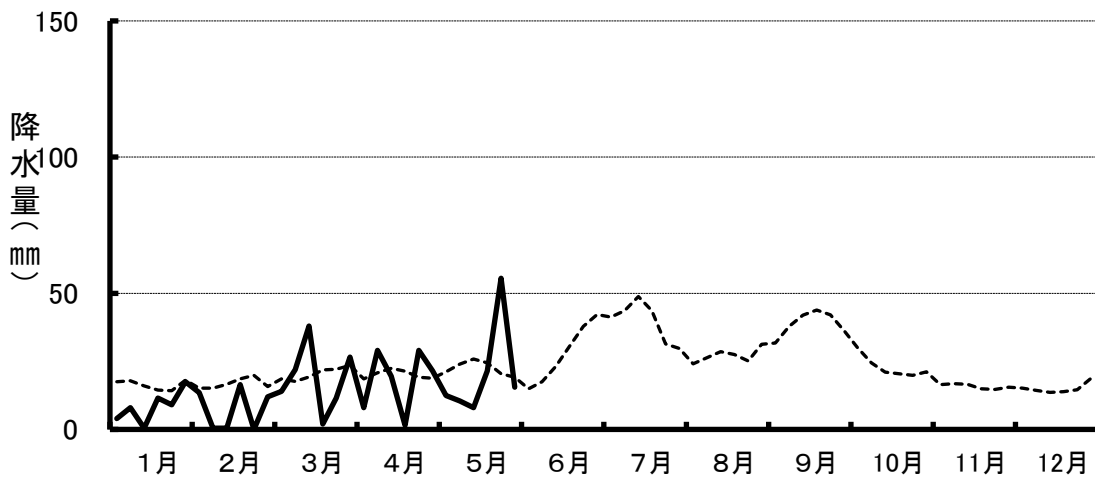


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

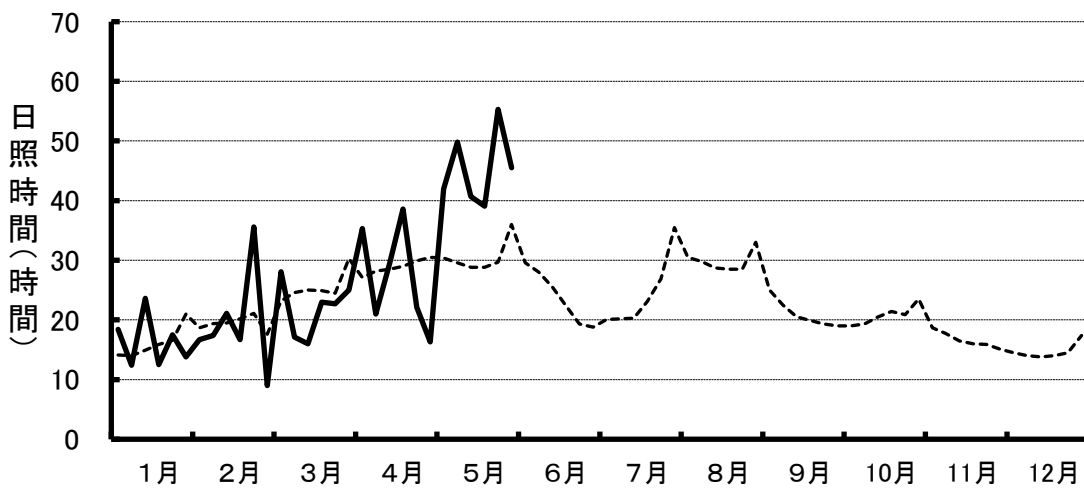


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)

データ: 高山特別地域気象観測所